

教科名	家庭科	校種	高等学校
-----	-----	----	------

科目の配当				
学年	科目名	必・選	単位	授業展開など、授業の形態
1年				
2年	家庭基礎	必	2	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名実施
3年	生活文化	選	2	講義、実験、実習によって展開 実習は教員1名、助手1名で実施

科目名 (教科名)	家庭基礎 (家庭科)				
担当教員	池上 弘枝				
学年	2	単位数	2	必修・選択・展開	必修

■ 授業の目的

1. 人の一生と家族・家庭及び福祉, 衣食住, 消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を学ぶ。
2. 学習した知識や技術を活用し, 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を学ぶ。
3. 家族や社会との共生を目指し, 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を学ぶ。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	家族・社会との共生 第1章 自分らしい人生をつくる 第2章 子どもと共に育つ 第3章 高齢社会を生きる 第4章 共に生き、共に支える 生活の自立 第5章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の視点、青年期の課題、目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる、これからの家庭生活と社会 ・高齢期を理解する、高齢者の心身の特徴、これからの高齢社会 ・私たちの生活と福祉、共に生きる、社会保障の考え方 ・食生活について考える、食事と栄養・食品 ・これからの食生活 ・生涯の健康を見通した食事計画
2学期	第6章 衣生活をつくる 家族・社会との共生 第2章 子どもと共に育つ 生活の自立 第5章 食生活をつくる 第7章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割を考える、被服を入手する、被服を管理する ・これからの衣生活 ・子どもとの触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境 ・食生活の安全と衛生 ・調理の基礎、調理と理論 ・住生活について考える、住生活の計画と選択 ・これからの住生活
3学期	家族・社会との共生 第8章 経済生活を営む 生活の創造 第9章 生活を設計する	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する、計画的に使う、消費行動と意思決定 ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活、現代の消費社会 ・これからの消費生活と環境 ・生涯を見通す ※生徒の実態に応じて内容、進度に変更されることがある。
評価の方法と割合	●評価方法：定期試験（学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。 ●割合：定期試験70%、平常点30%として学期の成績を算出する。	
教科書・副教材等	●教科書： 家庭基礎（東京書籍） ●資料集： 生活ハンドブック（第一学習社） ●問題集： なし	

科目名 (教科名)	生活文化 (家庭科)				
担当教員	平尾 三和子				
学年	3	単位数	2	必修・選択・展開	選択

■ 授業の目的

1. 日常生活のマナーや文化を知り、実践する態度を学ぶ。
2. 被服の基本型と文化、着装などに関する知識と技術を学ぶ。
3. 服飾文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を学ぶ。
4. 食生活の変遷と文化、日本と世界の食文化などに関する知識と技術を学ぶ。
5. 食文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を学ぶ。
6. 食生活の充実向上を図るとともに、創造的に調理する能力と態度を学ぶ。

■ 授業計画

学期	授業の項目	内容
1学期	生活とマナー・文化 服飾文化の伝承と創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活のマナーと文化 ・ 被服製作の基礎 ・ 着物の構成と名称 ・ ゆかたの製作 (裁断、縫製) ・ ゆかたの着装
2学期 3学期	食生活の充実と向上 食文化の伝承と創造 手芸品の伝承と創造 生活の課題と実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯の健康を見通した食事計画 食事バランスガイド ・ 対象別の献立と調理 幼児や高齢者の食事 ・ 様式別の献立と調理 和食の献立、 中国風献立、 洋風献立など ・ 世界の料理の特徴と文化 ・ 日本の料理の特徴と文化 ・ 調理の基礎 集団調理 (安全と衛生) 調理の目的、種類と基本操作 ・ 各種手芸に関する知識 手芸の種類、特徴及び変遷、技法 手芸品の製作 <p>※生徒の実態に応じて内容、進度に変更されることがある。</p>
評価の方法と割合	<p>●評価方法：定期試験（1学期2回各25分、2学期1回）と平常点（提出物・実習・実験態度など）で各学期の成績を算出する。</p> <p>●割合：定期試験…50%、平常点50%として各学期の成績を算出する。</p>	
教科書・副教材等	<p>●教科書： 家庭基礎 (東京書籍)</p> <p>●資料集： 生活ハンドブック (第一学習社)</p> <p>●問題集： なし</p>	